

# 4-③. 新拠点開設に向けての準備活動

— 民の手で作る市民活動の拠点！その開設まで、様々な参加型アプローチで準備にまい進。

大阪府市の政策転換の影響を受け、12月には北区事務所を、3月には大阪NPOプラザを閉館することが決まった。そこで、協会では、新しく協会自身の力で運営する完全民設の市民活動拠点「市民活動スクエア CANVAS谷町」を開設することを決定。この民設拠点の開設により、独立した立場で自由に活動できる場を確保し、これまで以上に、ボランティア活動や市民活動を支える取り組みを進め、市民が主体となった社会づくりを進めていく予定である。  
自分たちらしい活動の場を作り上げるために、1年近くにわたって、協会らしい「参加型」でその準備を進めてきた。

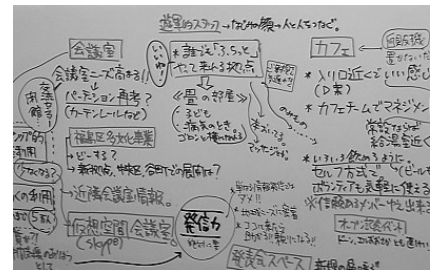
## 1. 参加型で「拠点」を作り上げる取り組み

### （1）拠点探し（8月）…団体も巻き込んで探索。利用団体の卒業支援。

ONP入居利用団体に呼びかけて、新拠点候補物件の見学会を3回（9/3・18、9/22）開催。また新拠点候補物件の別フロアへ単独または複数団体でシェア入居する団体のコーディネーター等を行った。

### （2）アソシエーター&利用団体意見交換会（11月）

新拠点の概要と主な目的、準備の進捗を事業推進の担い手であるアソシエーターに伝え、新拠点のコンセプトについての意見交換会を行った。各事業を担うアソシエーターの視点から、新拠点に期待する役割、また現状の課題などについて議論され、新拠点の機能、レイアウトに向けての具体的な意見が交わされた。①2012年11月2日（金）19時～ 参加10人、②11月4日（日）10時～ 参加13人 ③11月9日（金）19時～ 参加11人いずれも場所は、大阪NPOプラザ。



### （3）全員まるごとワークショップ（11～12月）、レイアウト協議、ネーミング等も意思決定

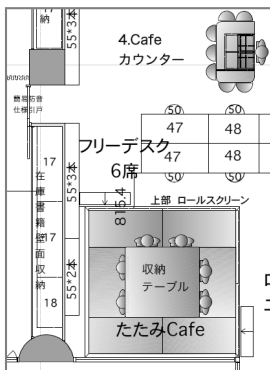


新拠点を作っていくにあたって、拠点利用を予定している団体にも声をかけて、多くの人とイメージを意見交換しながら、希望を盛り込んだ拠点を作っていくための拠点づくりワークショップを開催した。社会からの共感につながるような新拠点で起こる出来事をシミュレーションし、寄付集めのためのコンセプトペーパー作りにつなげていった。

- ①2012年11月17日（土） 参加18人、②11月24日（土） 参加18人
- ③12月1日（土） 参加18人（写真は当日のシミュレーションのようす）

上記、意見交換会、ワークショップでの様々な意見を具現化するために、2013年

1月から2月にかけて拠点の機能設計を進めた。拠点に対する様々な意見（たたみコーナー、カフェコーナー、在庫書籍の収納スペースの設置や車イスが出入りしやすい引き戸など）について、建築士のアイデアに助けられ、左図のように、さまざまな意見を具現化していくことができた。



新拠点の名称は、ワークショップでの名称案への投票を参考に、常任運営委員会での議論の結果、2013年1月25日に「市民活動スクエア CANVAS（キャンバス）谷町」に決定。ボランティア、NPO活動、情報が活発に行き交うイメージを「スクエア」に、多様な市民活動の担い手や支援者が、真っ白な画布に多彩な活動を描いていくイメージを「キャンバス」に、新拠点が立地する「谷町」を加えて、新拠点名称に決定した。

## 2. 拠点づくりでの様々な支援

### （1）拠点開設準備の寄付集め活動（12～3月）

ワークショップでの意見を受けて「寄付集めのコンセプトペーパー」を作成（右写真）。かつて寄付いただいた「会館建設積立金500万円」の一部を取崩して充当し、残り必要となる800万円の拠点寄付キャンペーンを実施した。結果、1039万円（3月末）のご寄付をいただくことができた。



### （2）参加型引っ越し（3月）、開設への多様な協力

大阪NPOプラザを片づけ、新拠点に引っ越しする作業も、約60人のボランティアの協力を得て実施。3月17、22日、23日の大引越しから3月末に至るまで多くの協力を得た。また、コベルシステム（株）のプロボノ協力で、新拠点のネット環境を整備することができた。